

(様式1)

校 種	① ・ 中 どちらかに○	学校番号	1	学校名	宇都宮市立 中央小 学校
-----	-----------------	------	---	-----	--------------

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康で、気力にあふれ、夢に向かって創造力とたくましい実践力を発揮し、新しい時代を拓く知性豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（目指す児童像） ◇ザウルスキッズ「合言葉」

- よく考え、自ら学ぶ子 【考える】
- 健康で、粘り強くやり遂げる子 【やりぬく】
- 誠実で、思いやりのある子 【助け合う】
- きまりを守り、責任を果たす子
- 広い心を持ち、文化を大切にする子

2 学校経営の理念

★ 教育理念「大樹のごとく伸びる子」

校歌の歌詞にある「大樹の如く生い立たん」は、本校の子供「ザウルスキッズ」の成長を象徴している。子どもたち一人一人が、「大樹」の如く成長し続ける存在であることを願い、本校の教育理念を「大樹のごとく伸びる子」とし、「響き合い高め合って、ぐんぐん伸びるザウルスキッズ」を目指し、魅力に満ちた中央小の実現に努力する。

<目指す学校像>

- 子供にとって、わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校
- 教職員にとって、自分の力を十分に発揮できる、やりがいのある学校
- 保護者にとって、安心して子どもを通わせられる学校
- 地域にとって、信頼できる開かれた学校

3 学校経営の方針

未来の創り手となる子供たちに、知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」を育んでいくために、「新学習指導要領」「第2次宇都宮市学校教育推進計画」の趣旨に基づきながら、本校児童や地域の実態を踏まえ、地域の教育力を有効に活用した特色ある教育活動を推進する。

- (1) 人権を尊重し、心豊かな子供を育成するために、多様な人々と協働する主体的な活動を取り入れ、よさを認め励まし、基本的な生活習慣の定着を図る心の教育の推進に努める。
- (2) 自ら学び、考え、表現する力を育成するために、意欲の向上と深い学びの実現に向けた 学習指導の充実に努める。
- (3) 健やかでたくましく生きる子供を育成するために、体力の向上と望ましい食習慣の形成と命を守る安全教育の充実に努める。
- (4) 家庭・地域・関係機関との連携した社会に開かれた教育課程を推進し、地域の人的・物的資源を効果的に活用した地域とともにある学校づくりに努める。

- (5) 教職員がいきいきとやりがいをもって勤務し、共働・協働の意識を高め、使命感と専門職としての自覚のもと、研修に励み、信頼される職場づくりに努めるとともに、教職員の働き方改革の視点に立ち、校務の効率化と勤務時間の適正化を図り、職場環境改善のための取組を推進する。
- (6) 旭地域学校園の教育ビジョンを目指し、地区内の小中学校の情報共有と共通実践を通して小中連携の一層の充実に努める。

「旭地域学校園教育ビジョン」

地域に愛される旭っ子

4 教育課程編成の方針

- (1) 国・県・市の基本方針、並びに児童の実態や地域の状況を考慮し、教育活動全般を通して特色ある教育を展開し、豊かな人間性や基礎・基本を身に付け、個性を生かし、変化に激しいこれからの社会を生きていくために必要な資質・能力である「生きる力」を培うためことを目指した教育課程の編成に努める。
- (2) 小学校学習指導要領の趣旨を十部に踏まえ、家庭や地域と連携を図り、それらの教育力を活用し広がりを持った教育活動が実践できるよう、社会に開かれた教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- 「大樹のごとく伸びる子」を育むために、学校の組織力を高め、学校・家庭・地域の連携・協働による特色ある教育活動を展開し、地域とともにある学校づくりを推進する

(2) 学習指導

- 主体的に取り組み、共に学び合う児童の育成
～ 自らの考えを広げ、深めることのできる授業づくり ～

(3) 児童生徒指導

- 基本的な生活習慣を身に付け、集団生活のルール・マナーを守る態度の育成
“『あはは』と笑顔輝く学校に！”
—あいさつ・はいという返事・はきものをそろえる—

(4) 健康〈保健安全・食育〉・体力

- 自ら判断し、進んで健康・安全な生活をしようとする児童の育成
—「自分の力に合っためあてをもち、主体的に運動する児童」・
「自分の体に関心をもち、健康で安全な生活ができる児童」をめざして—

6 学習指導、児童生徒指導、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- 学びの基本を習得する力（学びの底力）
- 他人のために尽くす力（優しさの底力）
- 地域を愛し大切にする力（生きる底力）

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◆）

○ 自分大好き夢にチャレンジ ⇒ 未来とつなぐ「学びの底力の育成」

◇ 学力パワーアップ大作戦

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の実践
- ・自分の考えを書かせて説明させるなど「書く活動、聞く・話す活動」の充実
- ・担任プラスα教員による朝のパワーアップタイムでの学習支援の実施
- ・少人数指導、習熟度別学習、TTなどによる基礎・基本の定着を図る支援の充実

◆ 未来体験

- ・中央地区での社会体験学習「未来体験」

○ 友だち大好きみんな仲間 ⇒ 仲間とつなぐ「優しさの底力の育成」

◇ ザウルスキッズ縦割り班活動

- ・ザウルス交流会 ・縦割り班遊び ・縦割り班清掃

◆ あいさつナンバーワン

- ・クラス単位のあいさつ週間運動 ・登下校におけるあいさつの徹底
- ・あいさつリーダーの表彰

○ 中央地区大好きみんなのふるさと ⇒ ふるさと中央地区とつなぐ「生きる底力の育成」

◆ ふるさと夢いっぱい

- ・中央地区探検 ・お城で持久走大会 ・地域クリーン活動(釜川・オリオン通り)

◆ 教えて！先輩

- ・講話で教えて！ ・授業で教えて！ ・体験活動で教えて！

◇ みんなが元気！

- ・中央地区の一人住まいのお年寄りとおふれあい給食

8 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 地域とともにある学校づくり

① 基本的考え

地域人材をボランティアとして招いた学習活動や体験活動、地域の資源を活用した校外学習や交流活動、地域団体主催各種行事への参加など多様な学習機会を設け、地域とのつながりを重視し、地域とのかかわりの中で子供たち一人一人の豊かな学びを実現する。

② 主な取組

○ 学年連携型地域連携事業

- ・宇都宮城址公園すす払い（1・2年生親子）
- ・中央地区防災訓練（3・4年生親子）
- ・こころが元気になる音楽会（5・6年生親子）

○ 特色ある教育活動

- ・「未来体験」事業 ・「教えて！先輩」事業 ・「みんなが元気！」事業

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

小中が連携して、地域から学ぶ学習や地域での協働体験活動を展開し、一人一人の子供が地域の一員としての役割や責任を自覚し、地域への感謝の心、元気な挨拶などの社会性、基礎学力の定着、奉仕の精神を養う。

② 主な取組

- 「あいさつ運動」を学校園の中心活動として展開していく。
※登校時に昇降口前で中学生と地域ボランティアと一緒にあいさつ運動を実施
- 学校行事や地域行事におけるボランティア活動，交流活動の実施
- 各教科の9年間を見通した年間指導計画の地域化
※「体育・保健体育科の本質と授業方略可視化の検討」継続研究【平成36年度まで】
(国立教育政策研究所・宇都宮大学・宇都宮市教育委員会と共同で)
- 小中学校の職員と保護者による地区懇談会の実施

(3) 不登校対策

① 基本的考え

日常から望ましい学級経営を展開し、あきらめない強い心やくじけない心などの醸成を図り不登校の未然防止に努めるとともに、家庭と連携し子供一人一人の変化を捉え、学校全体で悩みや不安の早期発見・早期対応に努める。不登校の恐れがある場合には、関係機関と連携し対応を図る。

② 主な取組

- 早期発見・早期対応
 - ・ 全職員による日々の児童観察に加え、全児童対象教育相談(年2回)、Q U検査、保護者対象個人懇談、S C相談等により、一人一人の悩みや不安の察知に努める
 - ・ 教育支援委員会(年3回)、かがやき支援委員会(年1回)、ミニ支援委員会(隔週)により、教職員間での情報共有と支援方針の確認に努める
 - ・ 個に応じた支援に努める(習熟度別学習、かがやきルーム活用、複数教員による学習支援、通級及び特別支援学級担当教員による支援)
 - ・ 不登校が心配される場合は、保護者やS C、教育センター等と連携した対応に努める。
- 未然防止
 - ・ 教育活動の中で、自尊感情を高めるためによさを認め、励ます指導に努める。
 - ・ 道徳の時間や各種交流活動等において、強い心や思いやりの心の醸成とコミュニケーション力の向上に努める。
- 教職員の資質向上、組織力の向上
 - ・ 児童理解や教育相談に関する研修会を計画的に実施する。
 - ・ 報告・相談・連絡を密にし、問題は一人で抱え込まず、組織で対応する。